

被害防止計画目標評価報告書

湖北地域鳥獣被害防止対策協議会

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	長浜市、米原市
実施期間	令和5年度～令和7年度

2. 被害防止計画目標の達成状況

対象鳥獣	被害金額(千円、%)					被害面積(ha、%)			
	基準年の実績値 (A)	目標値 (B)	目標年の実績値 (C)	割合	達成率 (A-C)/(A-B)	基準年の実績値 (A)	目標値 (B)	目標年の実績値 (C)	達成率 (A-C)/(A-B)
イノシシ	1,321	925	3,080	6%	-444%	1.34	0.94	2.71	-343%
ニホンザル	9,281	6,496	4,045	7%	188%	2.26	1.58	3.34	-159%
ニホンジカ (野鳥・水産物)	917	642	3,225	6%	-839%	1.06	0.74	4.81	-1172%
ニホンジカ (スギ・ヒノキ・その他)	-	-	-	-	-	15.18	10.63	0	334%
ハウピシン・アライ グマ・ヌートリア	709	496	593	1%	54%	0.07	0.05	0.06	50%
ツキノワグマ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラス	2,875	2,012	2,155	4%	83%	0.27	0.19	0.85	-725%
アオサギ	23	16	0	0%	329%	0.03	0.02	0	300%
カワウ	60,217	42,152	40,925	76%	107%	-	-	-	-
合計	75,343	52,739	54,023	100%	94%	20.21	14.15	11.77	139%

3. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果
R5	ハウピシン、アライグマ、ヌートリア	有害捕獲	殺処分用炭酸ガス 3本	協議会(米原市)	R5	100%	貸出中箱わなにて捕獲した対象鳥獣に止め刺し時に利用しており、職員への精神的ダメージが少ない。
	ニホンジカ	有害捕獲	ICT機材付き囲いわな(ドロップネット) 1式	協議会(米原市)	R5	100%	多頭捕獲が可能であることと、捕獲時に発生する音量が低いため、スレを防止できる。
	全般	有害捕獲	狩猟免許事前講習会 10名	協議会(米原市)	R5	100%	新規狩猟者を育成することで、持続可能な捕獲体制を構築できる。
	全般	有害捕獲	狩猟免許事前講習会 15名	協議会(長浜市)	R5	100%	新規狩猟者を育成することで、持続可能な捕獲体制を構築できる。
R6	全般	有害捕獲	狩猟免許事前講習会 11名	協議会(米原市)	R6	100%	新規狩猟者を育成することで、持続可能な捕獲体制を構築できる。
	ハウピシン、アライグマ、ヌートリア	有害捕獲	殺処分用炭酸ガス 1本	協議会(米原市)	R6	100%	貸出中箱わなにて捕獲した対象鳥獣に止め刺し時に利用しており、職員への精神的ダメージが少ない。
	ニホンジカ	有害捕獲	ロープウインチ 1台	協議会(米原市)	R6	100%	捕獲後の引き上げ時に使用することで捕獲者の負担が少ない。
	ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ	有害捕獲	IoTトレイルカメラ 1基、センサーカメラ 5台	協議会(米原市)	R6	100%	箱わな等設置前の調査段階で使用し、生息状況調査等に利用可能である。
	ニホンジカ、イノシシ	有害捕獲	箱わな 8基、センサー式トリガー 8台	協議会(米原市)	R6	100%	捕獲圧向上につながる。
	ニホンジカ	有害捕獲	ICT機材付き囲いわな(ドロップネット) 1式	協議会(米原市)	R6	100%	多頭捕獲が可能であることと、捕獲時に発生する音量が低いため、スレを防止できる。
	全般	有害捕獲	狩猟免許事前講習会 13名	協議会(長浜市)	R6	100%	新規狩猟者を育成することで、持続可能な捕獲体制を構築できる。
R7	全般	有害捕獲	狩猟免許事前講習会 6名	協議会(米原市)	R7	100%	新規狩猟者を育成することで、持続可能な捕獲体制を構築できる。
	ハウピシン、アライグマ、ヌートリア	有害捕獲	殺処分用炭酸ガス 1本	協議会(米原市)	R7	100%	貸出中箱わなにて捕獲した対象鳥獣に止め刺し時に利用しており、職員への精神的ダメージが少ない。
	ニホンジカ、ニホンザル	ICT等新技術の活	ICT機材付き囲いわな 2基	協議会(米原市)	R7	100%	既存の檻に設置することで、多頭捕獲が可能となった。
	全般	有害捕獲	狩猟免許事前講習会 21名	協議会(長浜市)	R7	100%	新規狩猟者を育成することで、持続可能な捕獲体制を構築できる。
	ニホンザル	有害捕獲	檻用自動捕獲センサー 3基	協議会(長浜市)	R7	33%	仕掛け作業が簡易的になり、農管理者の負担軽減に繋がる。
	ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ	有害捕獲	トレイルカメラ 2基	協議会(長浜市)	R7	0%	被害が多く見られる付近に設置予定をしている。人里への侵入箇所の特定、被害防止への対策につなげることが期待できる。

4. 総合評価

新規捕獲者の育成を通じて、持続可能な捕獲体制を構築することができた。また、大型わなやICT機器等を導入し、多頭捕獲を可能とすることで、効率的な有害鳥獣捕獲を実施することができた。しかしながら、湖北地域では依然として鳥獣被害が発生していることから、今後も継続した取組が必要となる。